

# 高退協ニュース

## ビキニ核被災 国家賠償請求訴訟の結審

橋元陽一



高知地裁前での原告団  
前列2列目左端が橋元陽一、他に高退協会員が数名います

二月十六日の第九回口頭弁論で結審しました。判決は七月二十日に行われます。

本裁判は元乗組員と遺族四十五名が原告となり、国の六十年余に及ぶ一連続の不法行為による損害賠償を求め、訴訟を起したものです。一連続の不法行為とは①被災事実を隠ぺいし続けてきたこと(作為違反)②被災した乗組員に対して救済措置など何もしてこなかったこと(不作為行為)の二つの政府による行為が六十年余継続して行われてきたことを指しています。国賠訴訟での除斥期間、効の法的制限を超えるたかいであり、六十年余隠ぺいされた歴史の真実の扉を開き、国家的犯罪を断罪する司法の場における主張の論点です。

マゴロ船の被災の事実の調査活動を紹介しました。文部省はこのトピックを教科書検定を介して削除しました。政府ぐるみで隠ぺいを図ってきた証拠の一つです。その隠し続けてきた当時の政府の被災調査に関する資料がアメリカの公文書館に保管されていたことが判明し、二〇一四年十月によろやく関係資料を開示しました。資料を入手したことで、二〇一六年二月に全国健康保健協会船員保険部に十一名の元乗組員と遺族が労災申請の手続きをとりました。さらに訴訟の根拠となる資料となり、同年五月に国家賠償を求め訴訟を起しました。

高知県は、二〇一五年から県内三ヶ所で健康相談会を開催し、元漁船員の健康調査と広島原爆放射線研究所の方々に講師に、内部被ばくの科学的知見の学習会をすすめました。また県の要請にこたえる形で厚労省に研究班を設置されました。ところが研究班の報告書は、当時の米軍のデータに基づき、被ばく線量評価を行い、「元乗組員の被ばく線量は極めて低く、死因との因果関係は確認できない」と報告しました。広島大学研究者グループが、研究班が使った計算式で計算すると、第五福電丸の被ばく線量は0.78mSvになることを指摘しています。当時の被ばくの実測値が残っている第五福電丸の被ばく線量は、1600mSv、7000mSv、1600mSv、7000mSvの四つあり、福島第一原子力発電所の被ばく線量に匹敵するレベルです。ビキニ環礁海域での六回に及ぶ水爆実験によるマゴロ船員の被ばくは内部被ばくであり、フオールアウトによるホットスポットの被ばくは米軍のデータでは被ばく線量の評価できないと、同研究者グループは政府から委嘱された研究班が、またも非科学的な手法を用いて、第五福電丸以外の核被災を「なかったものにする」ことに手を貸している事実を指摘しています。

七月二十日に審判が下され、六十一年余政府の政治決着で隠蔽されてきた「ビキニ核被災の真実」を解明する扉が開くことを期待しています。昨年三月出版した「ビキニ核被災ノート」が第六十二回県出版文化賞を受賞しました。また三月四日午後一時三十分から、高知文化ホールで、核兵器禁止条約の批准と核被災者救済を求める高知のつどいを開催します。国連での核兵器禁止条約採択に合わせて、ノーベル平和賞の受賞式に参加されたICAN・日本NGOの川崎哲氏、日本被爆協の田中照巳氏、ビキニ検証会共同代表・医師の間元氏を招いてのシンポジウムです。ぜひ参加してください。



上村 文香

一月九日(火)に高退協単独での初歩きが行われました。前日は、一日中雨が降って明日はどうかと心配されましたが、なんとか雨も止み初歩きを決行することができました。

当日は、高知城ホールを9時に出発し、筆山登山口から筆山の駐車場へ。駐車場で上岡先生と合流して十人を出発。墓地の中を歩くこと約十分、浦戸湾を一望できる見晴らしの良い場所へ、足を止めて暫しの休憩。「あそこは、高知工業高校、こっちは、潮江中学校、潮江南小学校じゃ。」



2018年初歩き(皿ヶ峰山頂)

哀悼  
武内 直男 さん  
2017年12月30日逝去  
小笠原 幸雄 さん  
2018年1月30日逝去  
西森 實男 さん  
2018年2月27日逝去  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

と見える景色もやはり元教員らしく、学校が目につき話題にのぼります。さらに、山道を登っていくと、頂上付近で一輪車を押して作業をしている男性に出会いお話を伺うと、ボランティアで登山道や階段を作っているとのこと。「ご苦労さまです。」とみんなでお礼を言いながら通りました。皿ヶ峰の頂上に着くと、大きな虹が北の空に懸かっていて、それを見ただけで幸せな気分になりました。頂上では、和田先生の案で、「高知高退協」の旗のもとに、みんなが横一列に並んで記念撮影をしました。ここでも、高知市や一望できるのも、高知城や高知大学、イオン等を案内板と見比べながら、しばしお喋りに花が咲きました。そして、もつと山歩きをしたたい人は鷺尾山に足を伸ばしました。皿ヶ峰までのガーループは山を下って三翠園へ。三翠園では、早速温泉へ入り山歩きの疲れを癒しました。食事の部屋に帰ると、鷺尾山組からまだ山頂にいて、これからは山頂と連絡が入り、食事の時間を三十分遅らせてもらいました。全員が揃って乾杯し、待ちかねた食事タイムとなりました。そこでは、安倍首相の横暴振りが話題となり、「安倍の舌をチヨン切ってやりたい。」という声があがり、それを舌と下に聞き違えた人がいて大笑いしたことでした。今年も一年間、健康で山歩きや様々な活動が出来ました。うたと祈念した初歩きでした。

